

福岡女子大学 同窓会

第89号



筑紫海会会報

事務局 福岡女子大学内 TEL・FAX (092)692-3194



A棟と改築中の旧B棟

会長再任を受けて

筑紫海会会長 矢野 芙美子(天10回)

思い掛けない会長という大役を引き受けこの度、任期2年を終える事ができました。

筑紫海会の伝統の歯車は常にしっかりと回っており、微力な私もその動きに乗り導かれて迷う事なく進むことができました。その間多くの皆さまに温かいご協力を頂きました事に心より感謝申し上げます。



迎える事ができました。頼もしい限りです。

そして今年度の総会におきまして、会長に再任される前にもまして緊張しているところでございます。幸いお二人の副会長さんも留任してくださいました。他の役員の方々と共に頑張つて参ります。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、5人の理事さんが退任されました。同窓会を

平成27年度 総会報告

5月24日(日)西鉄グランドホテルにて同窓生237名出席のもと総会が開かれた。開会の言葉、出席者全員による物故者への黙祷に続き、矢野会長より、今回多くの出席者があったこと、なかでも24名もの女専の先輩の出席があったことに対する感謝の言葉、また大学に対する同窓会の役割を考えながら大学に協力していきたいという挨拶があった。



総会審議中

- 議事
- (1)平成26年度事業報告
かすみ祭参加(ミニ講演・留学生の振袖体験)。大学共催特別講演会(志賀海神
 - (2)会計決算報告、監査報告
(1)(2)を拍手にて承認
 - (3)役員改選
会長選考委員長経過報告

完成と美術館のグランドオープンを迎えます。同窓会はそのお祝いに大学側と「新能」を共催いたします。2年後にはキャンパスすべてが完成し、そして2023年同窓会とは4年早く百周年を迎えます。この発展に同窓会は大いなる喜びを持ってどれだけの働きができるでしょう。

＊ ＊

先日、奈良薬師寺西塔の釈迦八相の開眼法要に参加する事ができました。奉納されるブロンズ像の作者が、我が学内に建つ「ミゼレーレ(命よ)」の作者と同じ中村晋也氏であることの縁によるものです。千年以上にわたり守り伝えられやがて国宝になるという壮大な文化事業です。

我が「ミゼレーレよ、汝も！千年先まで・・・」

※中村晋也氏・彫刻家
文化勲章受章者(1926)

選考委員全員一致で矢野会長に2期目をお願いし、引き受けていただいた巨報正司理事選考委員長経過報告6名の新理事予定者を選考した旨を報告。

(3)を拍手にて承認の後、矢野会長より挨拶、退任理事及び新理事紹介。

(4)平成27年度事業計画案かすみ祭参加。学生のお茶会。90周年祝賀会等。

(5)予算審議
会費納入率が15%未満のため単年度では厳しくなりました。納入率アップをはかるために、コンビ二支払等も検討中。

平成28年度 筑紫海会総会 & 90周年祝賀会



筑紫海会 発会式
女専1回生が卒業した翌年の昭和2年6月5日撮影

日程 平成28年5月22日(日)
会場 西鉄グランドホテル
(福岡市中央区大名2-6-60)
【総会 当番学年 大29・30・49・50・62回生】

■当日のスケジュール
総会 10:30～11:15
休憩・会場準備
90周年 祝賀会 12:00～15:00

- ◆時間帯については多少の変更の可能性あり。
- ◆詳細は来年 HP および5月初めの会報にてご案内いたします。
- ◆女専の方には2月中旬以降ご案内の封書を送付いたします。

総会当番を終えて

当番委員長 森藤 由紀恵(大27食)

学生時代、天神からバスで40分かかった女子大。今や都市高経由で15分。この273年で大変貌を遂げている学び舎は、A棟改築を残すのみです。

今年の総会には、御年85歳になられた女専の大先輩方が24名も参加され、その凛とした元氣なお姿に感動しました。

外観は変わっても、私達には、女専時代から受け継がれてきた「女性らしい品性」を伴った誇るべき伝統があります。この一年間の活動は、まさにそれを実感したとても楽しいものでした。

そして、総会は、全ての参加者によって作られるものだと思います。皆様、本当にありがとうございます。また来年の総会でお会いしましょう。まだ参加したことのない貴女、一度覗いてみませんか？素敵な出会いが待っていますよ。



総会出席の女専の皆さん

波紋



▼昨年来、各地で噴火活動が活発になり、日本列島は活動期に入って、被害や避難を余儀なくされた方も多くおられる。私たちはひとたび災害が起きれば、一瞬のうちに全ての物を失い、それまでの生活が一変し嘆き悲しむ運命にある。人は、地球から見れば、ほんのわずかの間存在している小さな生物に過ぎない。日常、私たちは多くの物に囲まれ便利に生活しており、その物は全て地球の資源から作り出した物であり地球の恩恵で生きている。▼私は常々「断・捨・離」という風潮が気に入らない。不要な物は処分してすっきり暮らすという姿勢は、人間の驕り、傲慢ではないかとさえ思ってしまう。私たちが手にする物は、大切に最後まで利用し尽くすのが地球に対する礼儀ではないか。無駄なものか否かはその人次第で決まるのであって、私は無駄な物、無駄な経験はないと思っている。▼30数年にわたるペーパードライバの免許証が60才を過ぎても復活して運転しているし、いつか役に立つだろう物は、いつかは役に立つものである。私たちは物を大事に、地球に対して謙虚に生きるべきではなかるか。▼以上は整理整頓片付けが不得手な私の言い訳？

河中 禎子(大12回)
山口支部



受賞記念の真珠のブローチをつけて

筑紫海会賞 第1回受賞者紹介

「グローバルシティズンを目指して」

環境科学科 4年 村田 晴奈さん

受賞者の村田さんは、高校までを福岡雙葉学園で過ごし、人生の土台となるものの見方に大きな影響を受けました。環境に関心が向き、大学は語学力を伸ばしながら、同時に環境についても学べる本学を選びました。

女子大で「えこるしえ」という環境サークルを立ち上げ、海岸線に流れ着くゴミ拾い活動や地域の子供達への環境教育活動を続けています。

日頃の活動が評価されて、大学からの推薦を受け、韓国での日中韓三カ国環境大臣会合と同時開催の、ユースフォーラムに日本人学生代表5人の一人として参加しました。フォーラムでは、連携を密にする為の若者からの働きかけの必要性を確認しあいました。

小学生の頃、家庭でホームステイの受け入れをしており、ステイした台湾出身のジェシカと親友になり、台湾に関心が向きました。現在一年間台湾の淡江大学に留学し、環境学と中国語を勉強しています。

福岡女子大生の台湾留学は、初めてで、後に続く人たちがでていきます。

淡江大学は、台湾で唯一の提携校で、ここでも「えこるしえ」と同じような活動をしています。

「日台産学合作」という



参加型授業で、学生たちは台湾に進出している日本の企業、例えば、伊藤園、パイロット、JTB、エコ洗剤を作っている会社などを直接訪問し、店舗視察に同行するなどして、企業をとっても身近に感じています。

語学にもさらに磨きを掛けて、将来、他国との架け橋となれるような仕事を希望しています。

筑紫海会賞

母校の発展にも寄与するという同窓会の目的達成の一助として、昨年、同窓会が設けた賞。

具体的には、生活者の意識を持って地域社会、或いは国際貢献活動に成果を挙げ、能力向上意識が高いと認められる学部3年生を表彰し、記念品を贈呈。

筑紫海会 90周年総会及び

記念祝賀会について

副会長 江島 玲子(大21食)

大学が国際文理学部を開設して5年目の今年、初めての学部卒業生が巣立つと共に、大学院に新たな二つの修士課程が開設され入学生を受け入れるなど、ダイナミックに変化を遂げている中、同窓会は平成28年(2016年)に90周年を迎えます。

「誇りうる伝統から新しい創造へ」のコンセプトの下、大学との連携を強化しつつ、同窓会が今後どのように深化をしていくのか、この節目の時に、少し立ち

90周年の歴史の中に、私たちの大先輩である女専の方々の存在が根幹にあることは、誰もが認識しているところですが、今回、また新しい発見ができることを



筑紫海会の活動を支えている副会長、左 古屋さん、右 江島さん

期待しております。

平成27年度の総会におきましても、女専の方がクラス同窓会を兼ねて24名参加をしていただきました。お一人お一人が凛として佇んでおられる姿が印象的でした。

来年の総会と記念祝賀会でまた、たくさんの方にお会いできたらと強く祈念いたしております。

開学記念式典& 第4回ホームカミングデー

4月19日(日) 大会館において、同窓生120名の参加の下、開学記念式典と第4回のホームカミングデーが開催されました。

学長より、+αの大学を目指して、教育・研究・国際活動・社会活動などの取り組みを教職員一丸となつて推し進めていくとの決意表明がありました。



石倉洋子氏

その後、「刻々と変わる世界の中であなただけは何をするのか?」と題して一橋大学の名誉教授、石倉洋子氏の記念講演がありました。

講演内容は、世界が繋がり、仕事というもののありかたや、社会における個人の役割も、刻々と変化している中で、常に問題意識を持ちながら、新しい経験を求め、その過程で生じた違和感を解消するよう行動を起こす、新しいライフスタイルについての提案でした。

石倉洋子氏の紹介
ハーバード大学で日本人女性初の経営学博士号取得、事業戦略、競争力、グローバル人材などを専門にしている。

講演の後、第一回の筑紫海会賞授賞式があり、環境科学科4年の村田晴奈さんが授賞しました。式典後、同窓生の懇話会とキャンパスツアーがありました。

第5回ホームカミングデーのご案内

平成28年4月17日(日)

【申込方法】・各支部長・クラス委員を通じてご案内いたします。
・参加希望の方は、上記の方へ事前にお申込み下さい。

かすみ祭・10/31・11/1

皆様、お誘いあわせて、お越し下さい。

ワークショップを開催します(研究棟多目的スペース)

定員制です。30分前より受け付け開始します。

開催時間	内容
10/31(土) 11:00~	ペーパーフラワー(材料費100円) 講師:足立由美(大25被)
10/31(土) 13:00~	ガマぐち小物入れ作り(材料費500円) 講師:藤田美奈子(大26被)
11/1(日) 11:00~	折り紙(材料費なし) 講師:木村徳子(大26被)
11/1(日) 13:00~	俳句会一当季雑詠(材料費100円) 講師:森明子(大9国)

昨年好評だった、留学生対象の振り袖着付け体験を行います。

(10/31(土) 13:00~、11/1(日) 11:00~)

第2回 在学生との『お茶会』



在学生に同窓会を身近に感じて貰おうとの趣旨で、昨年より4年生を中心にした在学生とのお茶会を開催しています。

本年度は、11月12日(木)開催予定です。詳細は、ホームページに掲載します。会員の皆様のご参加をお待ちします。

予告

福岡女子大学・同窓会共催
同窓会90周年・大学美術館グランドオープン記念

新能
・日時 平成28年5月25日(水) 17時~
・場所 学生会館

留学生と一緒に正月を過ごしませんか ホストファミリー募集

福岡女子大学で学んでいる海外の学生を自宅に招待して、日本のお正月を体験してもらう企画です。

日時: 12月31日~1月2日
申し込み方法 10月末日までにFAX・メール・はがきで下記①~⑤を記入して申し込んでください。

- ①住所 ②氏名(卒業回・学部)
③TEL ④家族構成(ペットを含む)
⑤Eメールアドレス(あれば)

※ご都合等によって、多少日程が変更になっても構いません。

申し込み先 筑紫海会事務局 留学生のお正月体験係
申し込まれた方には後日連絡をいたします。



「女性リーダー育成プログラム」講座の報告



このプログラムは文部科学省の委託事業として採択され、福岡女子大学の建学の精神「次代の女性リーダーを育成」の流れを汲むもので、今年度より新たに開講いたしました。これからのリーダーに必要とされる「問題を発見し、解決に結びつける」力を磨くプログラムで5月に開講し、既にモジュール1「創造性を磨く」、モジュール2「リーダーシップを発揮する」を終え、10月よりモジュール3が始まります。モジュール3では今までの講座で得た知識とスキルをもとに実際の課題解決を実践していきます。

学び直しプログラムウェブサイト<http://www.fwu.ac.jp/manabi/>にて、講座・受講に関する情報を掲載しております。(「福岡女子大学 学び直し」でも検索できます。)

次年度の募集は年内12月中旬～下旬にかけてホームページで案内予定です。
<http://www.fwu.ac.jp/manabi/youkou/>

語り合おう！ 超高齢化社会をどう生きる！ —「第一回WWAS国際シンポジウム 高齢化社会における働く女性」のお知らせ ～Working Women in an Ageing Society～

来年6月、高齢化社会において、私達女性はどう生きていったらいいのか、ということを経験に国際シンポジウム(WWAS)が下記の要領で開催されます。福岡女子大学、福岡女子大学同窓会は主催団体としてこれらの課題に積極的に関わることにしました。特に2日目(6月5日)には同窓会企画としてリレートークを計画しています。詳しくは同窓会報、HP等で追ってお知らせします。また、近々WWASのHPが立ち上げられます。是非、多くの方に参加頂き、共に考え、共に語り合って何らかのヒント、指針が得られれば、と思っています。

記

6月4日(土) シンポジウム ネットワーキング交流会

6月5日(日) オープンフォーラム リレートーク グローカルカフェ

【使用言語】日英(同時通訳及び逐次通訳)

【参加人数】300名(海外からの参加者50名以上)

【会場】福岡国際会議場(福岡市博多区石城町 2-1)

主 催 WWAS2016大会委員会

英国非営利団体SALT(定年後への移行を考える研究会)

公立大学法人福岡女子大学 福岡女子大学同窓会筑紫海会

国立大学法人九州大学・女性の大活躍推進福岡県会議・

公益社団法人福岡県高齢者能力活用センター

平成27年度 福岡女子大学公開講座のご案内

* 知の発信—福岡女子大学研究紹介—

時間：13：30～15：00 受講料：1,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

回	日程	テーマ	登壇者
1	11/7 (土)	ナメクジの驚くべき能力	松 尾 亮 太 (福岡女子大学准教授)
2	12/12 (土)	和食ブームと日本の農業の未来 ～食材輸出は日本農業の救世主となるか!?～	新 開 章 司 (福岡女子大学准教授)
3	1/9 (土)	新蘭学事始 ～戦後70年、オランダ社会の過去との向き合い方～	吉 田 信 (福岡女子大学准教授)
4	2/13 (土)	韓国における『反日問題』の背景にあるもの	岡 克 彦 (福岡女子大学教授)

* 異文化への招待—国境や文化を越えて—

時間：13：30～15：00 受講料：1,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

回	日程	テーマ	登壇者
1	1/31 (日)	世界と出逢う ～大学教育の今日的課題と海外体験学習	和 栗 百 恵 (福岡女子大学准教授)
2	2/7 (日)	バングラデシュにおけるグラミン銀行の 貧困緩和の方法	チョウドリ マハブブル アロム (福岡女子大学教授)
3	2/14 (日)	スリランカの国内社会における紛争と和解 ：新しい民主主義とガバナンスの可能性	パスマシリ・ジャヤセーナ (福岡女子大学准教授)
4	2/21 (日)	文学・映画における食生活描写の文化的意義	スコット・ピュー (福岡女子大学教授)

お問合せ先 福岡女子大学 地域連携センター

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

TEL：092-661-2728(直通) 092-661-2411(代表)

FAX：092-692-3220

E-mail：rclc@fwu.ac.jp URL：http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

福岡女子大学共催 平成27年度 特別講演会

『スローフードな食卓を!』

講師 島村 菜津

(しまむら なつ)



1962年 長崎生まれ
福岡高校卒業
東京藝術大学
イタリア美術史専攻

イタリアをフィールドに、食を通して生活、人生、社会を見つめる。10年の取材を重ねて発表した「スローフードな人生!ーイタリアの食卓から始まる」で、一躍有名に。

当時、日本ではほとんど知られていなかったスローフードを紹介。以降、スローフードとは「生き方」ととらえ日本を中心にスローフード運動を精力的に進めておられます。

日 時 平成27年12月18日(金) 14時～16時
会 場 アクロス福岡大会議室 7F 福岡市中央区天神

入 場 料 無料
託 児 有り(※前もってお問い合わせ下さい)
申込方法 左下問い合わせ先(福岡女子大学 地域連携センター)まで
ご連絡ください。
先着順 申込締切日 12月11日(金) (定員180名)

著書紹介

『スローフードな人生!ーイタリアの食卓から始まる』新潮社 2000年 のち文庫
『イタリアの魔力 怪奇と幻想の「イタリア紀行」』同朋舎 2001年
『スローフードな日本!』新潮社 2006年 のち文庫

女性研究者支援室シンポジウム2015のご案内

女性研究者研究活動支援事業は、今年度、補助事業としては最終年度を迎えます。

つきましては、本事業の成果と課題を整理したうえで、女子大の特性を生かして今後どのように展開していけばよいかを考えるシンポジウムを開催します。

日 時 2016年1月26日(火) 13：00～15：20
場 所 福岡女子大学内 地域連携センター 2F セミナー2
講 師 宮浦千里(東京農工大学副学長)
山村康子(国立研究開発法人科学技術振興機構プログラム・オフィサー)
問合せ先 092(692)3104
メールアドレス E-mail：frsupport@fwu.ac.jp

* 後に続く女性たちへ

—秋枝先生からのメッセージを受けて—

時間：13：00～14：30 受講料：無料
コーディネーター：森 邦昭(福岡女子大学教授)
座長：鈴木 有美(福岡女子大学准教授)

回	日程	テーマ	登壇者
2	11/17 (火)	教職員の立場から	福岡女子大学教職員
3	2/20 (土)	卒業生の立場から	福岡女子大学卒業生

※第1回7/21(火)「学生の立場から」は終了しました。

《申込方法・備考》

■性別・年齢を問わず受講できます。

■E-mail、FAX、葉書のいずれかに、①希望講座名②氏名(フリガナ)③住所④電話番号⑤年齢⑥FAX番号(FAX申込みの方のみ)をご記入の上お申込み下さい。

■E-mailで公開講座や講演会の情報を随時発信しています。ご希望の方はお申し込みの際に、その旨ご記入ください。

■託児サービスを行っています(業者委託)。利用を希望される方は、講座開講日の10日前(土日祝日除)までに直接委託先へお電話ください。先着5名までです。費用は大学が負担します。

〈委託先〉(株)テノ・コーポレーション
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10
フリーコール 0120-8000-29

■学内には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、本センターからのご案内等に使わせていただき、他の目的には使用致しません。

【2015支部総会報告】※各支部連絡先は6面参照

東京 (5.19) 明治記念館
 近畿 (6.7) 大閘園
 佐賀 (6.12) 福岡女子大バスツアー
 北九州 (6.21) 小倉リーセントホテル
 久留米・筑後 (6.27) ホテルニュープラザ久留米
 長崎 (6.28) tutti
 筑豊 (8.30) パドドゥ・ル・コトブキ
 熊本 (9.14) 村上アソシエイツ
 鹿児島 (11.1) 寿庵



平成12年に発足しました鹿児島支部は、13支部中一番若い、会員120名程の支部です。

発足時より15年に渡り友清政子前支部長(大17食)の御尽力で運営されてきましたが(数々の御苦労に頭の下がる思いと感謝でいっぱいです!)支部の存続と発展を考え、役員(H22より当番制)のみならず、支部長も当番制を取り入れる運びとなりました。また交互に開催していました総会・親睦会を、毎年総会&親睦会として会員の交流を図ることとなりました。

小さな支部ですので毎回参加者は少ないのですが、近隣の美術館や窯元を訪れたり桜島よりみちクルーズ



鹿児島支部長 秋山 文子(大23被)

最も若い支部です!

鹿児島支部

佐賀支部では戦後間もない昭和21年10月17日に児玉義子(女専1家)さんが市内の同窓生に呼びかけられて最初の集まりがありました。その後折々に集まって同窓の絆を深めて行かれました。昭和50年11月24日に佐賀支部となつてからは定期的に同窓会が開かれています。初代会長は児玉義子さんでした。

平成10年から会報を1年おきに発行していますが、平成20年には記念誌『60年のあゆみ』を発行しました。支部の歴史が詳しく記録されています。会報は2年を任期として役員を交代しながら動いています。役員が2年ごとに交代することによって新しい参加者も少しずつ増えています。今年の役員は大15回卒から大18回卒までの9人です。

楽しかった福岡女子大学
見学バスツアー

佐賀支部長 三浦 陽子(大17国)



図書館棟めぐり

〈見学バスツアー〉

母校がいろいろな意味で新しくなったということが昨年の支部総会で話題になり、親睦旅行を女子大見学にすることがその場で半ば決まりました。

6月12日(金)、見学ツアーには28名の参加。図書館棟や学生寮を見学しました。新しい校舎の中に思い

私たちはあちこちで立ち止まり感嘆するばかりでした。寮はとにかくゆとりが感じられました。学生さんも伸び伸びと過ごしておられることでしょう。同窓会本部の方が秘書室と連絡を取って下さり学長室にある北畑観瀾さん(女専6)の書と前園裕子さん(大15食)の油絵を鑑賞しました。

昼食は海ノ中道のホテルザ・ルイガンズでとりました。新しい女子大を見学した心の高揚もあって楽しい語らいのひとときでした。この場所は学生時代に来たことのある人も多く、博多湾に浮かぶアイランドシティ、はるかに見える箱崎埠頭、

香椎(もちろん女子大生もです!)などを懐かしく眺めました。

参加者最年長は野田和子さん(女専19家)。先輩、後輩と一緒に近況を語り合いながら集える同窓会がいつまでも続くようにとの思いで帰路に着きました。



なでしこ伝言板

★『大23国 同窓会のお知らせ』

会場は学生時代の思い出の研修旅行で訪れた奈良です。申し込みそびれた方、急ぎご連絡ください。

期日 平成27年11月20日(金)
 場所 奈良ホテル(奈良市高島町1095)

★『大学25回生全学部 還暦記念同窓会』

たくさんのご参加をお待ちしています。

日時 平成27年11月15日(日) 12時～
 場所 リストランテ ビストロ「ドムス」
 会費 4,500円(飲み放題税込)



★『大11英 母校訪問』

6月5日 同窓生が帰省する機会に近郊に住む者とともに7名で大学訪問をしました。

数10年ぶりに学食で昼食を取り、カフェテラス Nan の木でゆっくりとコーヒーをいただきました。



★『大24回生 大学見学』

6月26日 8名の皆さんが大学見学。学科は異なりますが、寮や下宿つながりのお仲間で高知や鹿児島からも参加されました。記念写真は図書館棟の屋上で。

掲載ご希望の方は同窓会事務局までご一報ください

在学生からのお誘い!

環境科学科2年 鍋嶋美里

私たちマンドリンクラブは、大学内で有数の歴史あるクラブですが、一昨年は4年生の先輩方4人しかいないという深刻な廃部の危機に直面していました。しかし、部員たちの熱意により、数は徐々に増え、今ではとても個性豊かな12人のメンバーです。

秋に行われる定期演奏会のほか、地域の方々との交流を深めるための演奏会を行っております。聞く人に何かを残せるような演奏を目指して日々精進しています。

10月25日(日) 13:00～ 大学会館で定期演奏会を行います。マンドリンの繊細で澄んだ音色を聴きに是非お越しください。部員一同お待ちしております。



私が入学(1971年)、当時、学生数は600人位で、60人の部員がいる大所帯の部でした。私はマンドリンクラブに入りギターを始めました。5月には第6回定期演奏会があり、一年生は裏方で先輩たちの演奏を聴いていました。年一回の定期演奏会は明治生命ホールや電気ホールなどでやっていました。学内ではウィンターコンサート、大学祭、開学50周年にも参加しました。他大学や社会人のサークルとの合同演奏会での交流もありました。

日常の練習はプレハブの音楽室でしたので、夏は暑く冬は寒い中、頑張っていました。夏休み・春休みの合宿は青年の家などでした。

てきて、創立45周年と50周年の記念コンサートに参加しました。その中で、現役の部員の少数精鋭で部を継続して頑張っている姿と卒業生のみなさんの協力に感謝しています。



サークル通信 『マンドリンクラブ』

マンドリンクラブの
思い出

田中 正子(大22被)

いました。合宿の練習は大変でしたが、日頃ゆつくりお話しできない部員同士がいろいろ話ができ楽しかったです。

私は卒業後、関東に長く住み、数年前に福岡に戻っ

目加田先生、

川口小夜子(専25国)さん

米倉 テルミさん (大4国)

1957年の春、4回生の私達は卒業しました。晴れた日の校庭に式を終えた私達は丸めた卒業証書を持って、それぞれに校門を出ました。今思えば、それからの長い長い人生に、深い想いを抱いた不安も抱かず、皆明るくさらりと「さよなら」「元気でね」と言い合って・・・。

目加田先生のお姿が見えました。「今一度先生とお話したい」、ととつさに足をひるがえしました。先生のまわりにはもう人々が集まっています。私も一言でいいから「ありがとうございます」とだけでも申しました。

教育一筋に生きて

渡邊 三和子さん (大11英)

遠賀郡水巻町在住の渡邊さんをご自宅にお訪ねした。3台のハープを置いた部屋で演奏をお聴きする。一番大きなグランドハープはクラシックコンサート等でなじみのものだ。次に、アイリッシュハープ。そして、最も小さなサウルハープで『千と千尋の神隠し』のテーマを聴かせていただいた。伸びやかな美しい歌声だ。現在、ピアハーモニーというグループを作っていて、各地で年間5〜6回のボランティア演奏



米倉は、東京には何のコンクションも持たず、ただやみくもに新劇俳優をめざす青二才の同級生。無謀にも結婚した私、四面楚歌私の兄五人皆揃って反対し、末兄などは「親父が生きていたら間違いなく勘当だ」と叫び、叔父叔母も揃って危ぶみ、母だけが「面白そ

われらの仲間

なでしこの系譜

また、水巻町の教育委員としても活躍中である。教職は、お母様、お姉様がすでに教員として働いておられた上に、お母様の強い希望で選ばれたそう。現役中は、女性が働くことに理解ある御伴侶との結婚と協力という強い味方があった。また、お母様の強力なサポートで子育てを無事に乗り切り、仕事を続けられたとおっしゃる。

昭和30年代の英語教育はまだまだ教科書と黒板中心の授業。指導が難しい生徒もいた。授業が成立しないことも。そこで授業研究に没頭し、研究会・研修会へ

です。

川口小夜子さんにはすぐお便り申し上げ、いろいろとお世話になりました。素敵な方でした。さり気なく、私は全面的に彼女の信奉者になってしまいました。御夫君の幹夫氏も素敵でやさしいお方でした。NHKの局内で遠くお姿をしばしばお見受けしましたが、お声はかけませんでした。一若手劇団のマネージャー(当時私は齊加年達の劇団青雲の唯一のマネージャーとして働いていました)、名もなく貧しい仲間たちをひきかざっているだけの時、私の仕事は彼等を使って頂くようにする事、でも今はあのやさしそうな御夫君を困らせるだけ。結局御挨拶が出来たのは、上京して20年後のことでした。川口幹夫氏はその後まもなく大N

へ編集部注
御夫君は、俳優・作家でいらした故米倉齊加年氏です。

仕事と子育てを通して

国際文理学部食・健康学科助手

江頭 和佳子さん (大42食)

大学を卒業して食品会社や大学医学部研究室で働いていましたが、その間に大学院へ進学し、母校で助手としての仕事を頂きました。私が主に担当している授業は、管理栄養士として対象者に合った栄養教育・栄養指導を考え実践する実習。学生が行政の管理栄養士の仕事を学びに学外で1週間の実習を行うための事前事後指導です。食・健康学科は少人数ですので、提出レポートなどは一人一人チェックし指導しています。

結婚、出産後も仕事を続けていますが、それも家族の理解があつてのことです。出産後は、平日夜遅くまで研究をすることが出来なくなりしましたが、学会発表前などの休日出勤時は夫や母が子どもの面倒を見てくれます。大学内の託児所も私はよく利用させてもらっています。今年、夕方からの会議や土日のイベントに出ましたので、夫や母の応援は本当に助かりました。

母は福岡女子大学の卒業生で、私の先輩でもあります。佐賀支部長を務めていた間は、私が縁の下で力持ちとして書類作成などのサポートをしていました。また、私が通っていた高校には女子大出身の佐藤博子先生(大18食)がいらつしゃって教育

葉にいつしか涙があふれていた。その後、このお言葉を経度も思い出しては、自分を励ますすうとしたそう。そして、今回、皇后陛下に謁見するという光栄がかった。今回は直接お会いし、目の前でその折のお礼を申し上げることが出来たと感動を語られた。聞いていた私どもも胸を打たれるエピソードだった。

最後に女子大の後輩にアドバイスをお願いした。

へ編集部注
第2次世界大戦中、水巻町にはオランダ兵捕虜が抑留されていた。戦後、慰霊碑が建立され、水巻町は小中学校を中心に元捕虜や遺族と交流を続けて来た経緯があった。その縁で、町と教育委員会を代表して、また英語が堪能な教育関係者として渡邊さんが招かれたのだ。

「社会に出る前の学生時代に、研究に勤しみ専門性を身に付けて、生きる目標を見出してほしい。職業につき仕事をする中で管理職やリーダーになっていくだろう。」「教職に関して言えば



右から佐藤先生、私、母(江頭由紀子 大13国)